



北の空高く、ひしゃくの形の七つ星、北斗七星が見えます。**おおぐま座**のお尻としっぽの星たちです。ひしゃくの器の先から「ほ・く・と・し・ち・せ・い」とたどると、他の星を探すときに便利です。「く」から「ほ」に線を引き、そのままのばすと北極星が見つかります。逆にのばすと、**しし座**が見つかります。しし座の胸に輝くのはレグルスで、「小さな王様」という意味です。しし座のしっぽの星はデネボラ（尾）です。

北斗七星の「しちせい」の星のならびをそのままのばすと春の大曲線です。東の空高くに、**うしかい座**のアルクトゥルスが見つかります。おおぐま座の後を追うように見えるので、「熊の番人」という意味の名前がつけられました。大曲線をさらに伸ばすと、**おとめ座**のスピカが見つかります。農業の女神が持つ麦の穂先の星で、「とがったもの」という意味です。アルクトゥルス、スピカ、デネボラを結ぶと春の大三角になります。

西の空には冬の星が残っていますが、東の空には夏の星が見えはじめていますよ。